

中間報告書

第73期 フジテック株式会社
2019年4月1日～2019年9月30日

目次

株主の皆さまへ	1
セグメント別売上高／TOPICS等	3
財務ハイライト	5
企業データ／株式の状況等	6





代表取締役社長
内山 高一

“安全・安心”、快適で持続的な 都市づくりに貢献します。

株主の皆さまには平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。
当社の第73期中間期(2019年4月1日から2019年9月30日まで)の事業概況について
ご説明申し上げます。

■ 営業概況について

日本と東アジアの伸長で増収増益と なりました。

当第2四半期連結累計期間の昇降機市場におきましては、中国での価格競争が継続するものの、需要は総じて堅調に推移しました。このような情勢のもと、第2四半期連結累計業績は増収増益となりました。

売上面では、中国の新設工事の増加と日本の大型案件の進捗に加え、アフターマーケット事業が堅調であったことから前年同四半期比10.8%増の858億円となりました。

利益面は、中国での出荷増や原価低減および韓国での輸出採算の改善、日本のモダンゼーション・修理工事の売上増により、同50.1%増の62億円となりました。

これにより1株当たりの中間配当金は、期初計画通り20円となります。なお、中国での新設工事の増加や採算性向上を踏まえ、通期連結業績予想を、売上高1,730億円、営業利益120億円にそれぞれ修正しました。引き続き全社で計画の達成を目指してまいります。

■ 中期経営計画について

スピード感をもって改革を進めています。

当社は、今年度を初年度とする中期経営計画“*Innovation, Quality & Speed*”において、収益性の高い筋肉質な企業体質への転換を図っています。

これに向け、期初に組織変更を行い、業務プロセスの革新やデジタル化推進を担う「営業技術本部」と「デジタルイノベーション本部」を設立。部門横断的な改革をスピーディーに推進できる体制を構築しました。

また、6月には人材育成とブランディングを目的とした施設「*エクスペリエンスセンター シンガポール*」を開設するなど、各課題へ積極的にアプローチしています。

“安全・安心”な昇降機の提供を通じて、快適で持続的な都市づくりへ貢献するため、改革のスピードを加速してまいります。株主の皆さまには、今後とも変わらぬご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

2019年11月

売上高

858億円

前年同四半期比 10.8%増

営業利益

62億円

前年同四半期比 50.1%増

経常利益

69億円

前年同四半期比 39.6%増

親会社株主に帰属する四半期純利益

45億円

前年同四半期比 16.6%増

1株当たりの中間配当金

20円

2020年3月期通期連結業績予想

(2019年11月8日開示)

	前回発表予想	今回修正予想
売上高	1,710億円	+20億円 ⬇️ 1,730億円
営業利益	104億円	+16億円 ⬇️ 120億円
経常利益	113億円	+17億円 ⬇️ 130億円
純利益	85億円	+10億円 ⬇️ 95億円

TOPICS

エクスペリエンスセンター シンガポールを開設

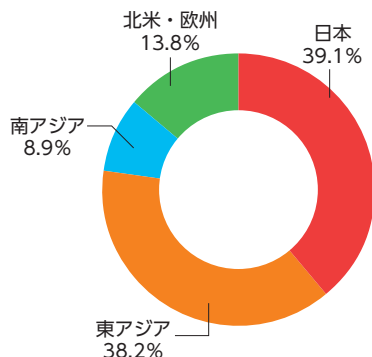
フジテックの南アジアを統括する中核会社フジテック・シンガポールは、6月に「エクスペリエンスセンター シンガポール」を開設しました。

同センターはフィールドエンジニアの人材育成とフジテックの魅力を発信するブランディングの目的で開設。フィールドエンジニアの教育を行うトレーニングエリアや、最新技術をお客さまに体感いただくことができるショールームエリアからなります。

施設の活用を通じて、シンガポールおよびその周辺国における人材育成と営業活動を強化し、“安全・安心”を基盤とするフジテックブランドのさらなる拡大を図ります。



セグメント別売上高



日本

売上高 **356**億円 ↗
営業利益 **20**億円 ↗

東アジア

売上高 **348**億円 ↗
営業利益 **25**億円 ↗

南アジア

売上高 **80**億円 ↘
営業利益 **11**億円 ↘

北米・欧州

売上高 **125**億円 ↗
営業利益 **4**億円 ↗

※セグメント別売上高の数値は、調整前の数字です。

※矢印は前年同四半期と比較

※2020年3月期より、従来の報告セグメント「北米」と「欧州」を集約し、「北米・欧州」に変更しています。

TOPICS

1. 注目物件／スリランカ **完成**

ロータスタワー

南アジアに位置するスリランカのグループ企業フジテック・ランカは、南アジアで最も高い建造物となる電波塔「ロータスタワー」にエレベータ・エスカレータ計14台を納入しました。建物は同国最大都市のコロンボに建ち、高さは356m。スリランカの国花、蓮（ロータス）を模した形をしています。

納入したエレベータ6台のうち3台は分速420mの高速機種で、同国内で最も速いエレベータです。蓮のつぼみにあたる高さ250m付近には、観光用の展望施設が設けられており、電波塔としてもテレビ20局、ラジオ50チャンネルの送信機能を持ちます。建設は2012年に始まり、2019年9月15日に完成。スリランカのみならず、南アジアの新ランドマークとして注目を集めています。



2. 技術

メンテナンス向けビッグデータ活用アプリを開発

当社はエレベータのメンテナンスにおける不具合への対応スピードを速めるため、不具合の解消に必要な対応内容を担当者へ通知するアプリケーションを開発しました。このアプリケーションは、過去の不具合への対応事例を集めたビッグデータを分析し、発生した事象への適切な処置方法を担当者へ通知します。これにより、若手とベテラン専門技術者間の対応力を平準化し、業務効率の向上に効果を発揮します。



環境保全

フジテックは、琵琶湖の保全活動へ多角的に取り組んでいます。

フジテックは滋賀県彦根市に本社をおくことから、琵琶湖の環境保全活動に取り組んでいます。本社内のエレベータ生産工場では、地球環境にやさしい商品づくりを推進しています。

● バクテリアによる汚水の浄化処理

エレベータの部品を塗装する際、不純物を含んだ汚水が発生します。この汚水は工場内でバクテリアを使って、バイオ処理、浄化処理して排水することにより、環境汚染を抑制しています。

● いばないこ伊庭内湖外来魚駆除釣り大会

伊庭の里湖づくり協議会が主催する「伊庭内湖外来魚駆除釣り大会」に社員28名が参加。琵琶湖へつながる東近江市の伊庭内湖で、生態系を脅かす外来魚を釣り、駆除しました。

● 環境美化活動

滋賀県と彦根市が主催、公益社団法人24時間テレビチャリティー委員会が共催する「環境美化活動」に社員47名が参加。彦根市内の琵琶湖岸で散在するごみを収集しました。



外来魚駆除釣り大会

財務ハイライト

連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前期末 (2019年3月31日現在)	当第2四半期末 (2019年9月30日現在)
(資産の部)		
流動資産	131,181	134,243
固定資産	53,508	52,860
有形固定資産	33,948	33,630
無形固定資産	3,874	3,675
投資その他の資産	15,684	15,555
資産合計	184,690	Point.1 187,103
(負債の部)		
流動負債	66,241	67,626
固定負債	4,525	4,593
負債合計	70,767	Point.2 72,219
(純資産の部)		
株主資本	112,559	115,193
その他の包括利益累計額	△ 9,752	△ 11,538
新株予約権	40	40
非支配株主持分	11,075	11,188
純資産合計	113,923	Point.3 114,883
負債・純資産合計	184,690	187,103

Point.1 資産合計

資産合計は、1,871億300万円となり、前連結会計年度末に比べ24億1,300万円増加しました。これは主に、受取手形及び売掛金、仕掛品が増加したことによりです。

Point.2 負債合計

負債合計は、前連結会計年度末に比べ14億5,200万円増加し、722億1,900万円となりました。これは主に、電子記録債務、短期借入金の減少に対し、前受金が増加したことによりです。

Point.3 純資産合計

純資産合計は、1,148億8,300万円となり、前連結会計年度末に比べ9億6,000万円増加しました。これは主に、為替換算調整勘定の減少16億4,800万円に対し、利益剰余金、親会社株主に帰属する四半期純利益や期末配当金の支払いにより25億6,000万円増加したことによりです。

連結損益計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期 (2018年4月1日～2018年9月30日)	当第2四半期 (2019年4月1日～2019年9月30日)
売上高	77,482	85,859
売上原価	60,869	66,726
売上総利益	16,613	19,132
販売費及び一般管理費	12,469	12,913
営業利益	4,143	6,218
営業外収益	978	933
営業外費用	159	225
経常利益	4,961	6,926
特別利益	718	128
特別損失	195	64
税金等調整前四半期純利益	5,484	6,989
法人税、住民税及び事業税	1,135	1,590
法人税等調整額	166	113
四半期純利益	4,182	5,285
非支配株主に帰属する 四半期純利益	246	697
親会社株主に帰属する 四半期純利益	3,935	4,587

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期 (2018年4月1日～2018年9月30日)	当第2四半期 (2019年4月1日～2019年9月30日)
営業活動による キャッシュ・フロー	4,659	5,786
投資活動による キャッシュ・フロー	279	△ 2,551
財務活動による キャッシュ・フロー	△ 3,542	△ 2,818
現金及び現金同等物に 係る換算差額	△ 690	△ 752
現金及び現金同等物の 増減額	706	△ 336
現金及び現金同等物の 期首残高	24,043	25,902
現金及び現金同等物の 四半期末残高	24,750	25,566

詳細は当社ホームページをご覧ください。

<https://www.fujitec.co.jp/ir>



企業データ

■ 会社の概況 (2019年9月30日現在)

創 業 1948年2月9日
 資本金 125億3,393万円
 所在地 本社ビッグウイング
 滋賀県彦根市宮田町591番地1
 TEL (0749) 30-7111
 東京本社
 東京都港区白金1丁目17番3号
 TEL (03) 4330-8200
 連結子会社 18社

■ 役員 (2019年9月30日現在)

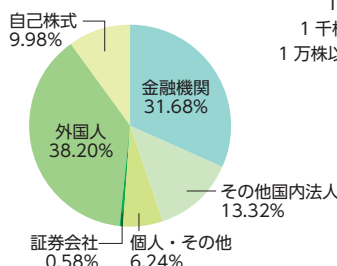
[取 締 役]
 代表取締役社長 内山 高一
 取 締 役 岡田 隆夫
 加藤 義一
 浅野 隆史
 社 外 取 締 役 佐伯 照道
 杉田 伸樹
 山添 茂
 遠藤 邦夫
 山平 恵子

[監 査 役]
 監 査 役 (常 勤) 井上 治男
 社外監査役(常勤) 石川 賢一
 社 外 監 査 役 池田 辰夫
 平光 聡

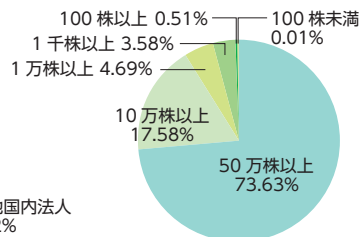
株式の状況 (2019年9月30日現在)

発行済株式の総数	株主数	上場証券取引所
90,067,000株	4,164名	東京証券取引所

■ 所有者分布状況



■ 所有株数別分布状況



■ 大株主一覧

株主名	持株数(百株)	持株比率(%)
1. 株式会社ウチヤマ・インターナショナル	50,439	6.22
2. チェース・ブミニーズ・リジヤスデットトリートイークライアント アカウント ジエネラル	50,000	6.17
3. 日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	44,524	5.49
4. 株式会社りそな銀行	40,516	5.00
5. ジェーピー・モルガン・チェース・バンク 385632	36,119	4.45
6. 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口4)	32,189	3.97
7. 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	25,934	3.20
8. SSBTC CLIENT OMNIBUS ACCOUNT	21,440	2.64
9. 株式会社みずほ銀行	19,892	2.45
10. 株式会社三菱UFJ銀行	16,638	2.05

(注1) 持株比率は2019年9月30日現在の発行済株式総数である90,067,000株から自己株式8,984,965株を除いた81,082,035株を基準に計算しています。

(注2) 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)には、従業員持株会支援信託ESOP145,400株が含まれています。

(注3) 当社は自己株式8,984,965株を所有しておりますが、上記の大株主(上位10名)の中には含まれていません。

株式についてのご案内

- 事業年度 4月1日から翌年3月31日まで
- 定時株主総会 毎年6月
- 基準日 定時株主総会・期末配当：毎年3月31日 中間配当：毎年9月30日
- 公告方法 電子公告により行います。ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告によることのできない場合の公告方法は、日本経済新聞に掲載することといたします。
ホームページアドレス：<https://www.fujitec.co.jp/koukoku>
- 株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関 東京都千代田区丸の内1丁目4-1 三井住友信託銀行株式会社
- 郵便物送付先 〒168-0063 東京都杉並区和泉2丁目8-4 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
- 電話照会先 電話 (0120)782-031 (フリーダイヤル)

エレベータ・エスカレータの安全なご利用のために

●万一のときは、非常呼びボタンを押してください

万一、停電や故障などでエレベータに閉じ込められた場合は、非常呼びボタンを押し、落ち着いて救出を待ちましょう。ボタンは3秒を目安にオペレーターが応答するまで長押ししてください。



●カート類の移動はエレベータをご利用ください

ショッピングカート、ベビーカー、車いす、シルバーカー、キャリーケースなど車輪のついたものをエスカレータに乗せると、落下や転倒により重大な事故につながるおそれがあります。カート類の移動はエレベータをご利用ください。



エスカレータの安全利用キャンペーンに参加

7月22日から8月31日まで、日本全国の鉄道事業者52社局や商業施設、空港などでエスカレータの安全利用を呼びかけるキャンペーンが実施されました。利用者が安心してエスカレータを利用できるよう「みんなで手すりにつかまろう」「歩かずに立ち止まろう」などの呼びかけを、ポスターの掲出やポケットティッシュの配布を通じて行いました。

フジテックは、一般社団法人日本エレベーター協会の会員として同キャンペーンに参加。今後も利用者の安全をさまざまな取り組みを通じて働きかけていきます。



キャンペーンポスター

フジテック株式会社



見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。



環境負荷の少ない「植物油インキ」を使用しています。



適切に管理された森林の木材を原料として生産された紙を使用しています。